

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		寄居P Aスマートインターチェンジ設置事業		担当課	道路河川課	担当係	幹線道路整備係	管理番号	4140			
総合計画	大項目	5	快適で利便性の高いまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務						
	中項目	2	交通アクセスの便利なまちづくり		根拠法令 個別計画等	道路法						
	小項目	1	道路・交通環境整備の推進									
	主要プロジェクト	0	(未使用)									
事業概要		本事業は、関係市町を中心として、関越自動車道の寄居パーキングエリアにスマートインターチェンジを設置すると共に設置効果を最大限に発揮するため、深谷市方面アクセス道路を整備する事業である。										
目的 ※何のために		交通の利便性向上と交通分散による渋滞緩和及び防災機能の強化を図るため。										
対象 ※誰・何を対象に		市民										
手段 ※どのように		NEXCO東日本や関係自治体と協議を行い、スマートインターチェンジ及びアクセス道路を整備する。										
成果 ※何を求めるか		ETC車載器を搭載した全車種・24時間対応のスマートICを設置することにより、関越自動車道へのアクセス性の向上、及び、アクセス道路の整備による寄居町・美里町方面への交通利便性の向上を図る。										
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NP0等 <input type="checkbox"/> その他()										
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)		
		一般会計	8	土木費		2	道路橋りょう費		2	道路新設改良費	スマートIC整備事業	3,348,399
本事業の 主な業務		・路線測量委託					・関係機関への負担金業務					
		・道路詳細設計委託					・					
		・用地測量委託					・					
		・用地買収					・					
		・文化財発掘調査					・					
		・本体工事発注					・					

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		・関係機関との協議、地区協議会・用地買収・工事の実施	・関係機関との協議、地区協議会・用地買収・工事の実施	・関係機関との協議、地区協議会・用地買収・工事の実施	・関係機関との調整、地区協議会・工事の実施	・事業効果検証(美里町実施)	・事業効果検証(美里町実施)
事業費	予算(現額)	132,329,000	6,758,000	133,692,000	177,331,000	5,468,000	7,452,000
	決算額	118,563,494	5,444,330	132,195,345	165,686,660	3,348,399	0
	財源内訳	国支出金	1,636,000	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	16,927,654	0	88,039,096	97,228,120	0
		一般財源	99,999,840	5,444,330	44,156,249	68,458,540	3,348,399
人件費	従事職員数(人)	1.75	1.75	0.65	0.65	0.65	0.65
	人件費相当試算※	13,613,250	13,618,500	5,268,250	5,288,400	5,045,245	5,285,376
総事業費試算		132,176,744	19,062,830	137,463,595	170,975,060	8,393,644	12,737,376

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	目標値	実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
成果指標 1	スマート I C 本体部整備工事 進捗率	目標値	%	100	100	100	100	100	0
		実績値		70.9	70.9	75.1	100	100	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		供用開始目標年度を 1 0 0 %とする						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	美里町で実施した事業効果検証業務に対し、負担金の支払いを行った。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	上り線は令和3年3月末に供用を開始しており、令和3年度は事業効果検証を美里町で実施した。
			評価者 幹線道路整備係長 金澤 博司

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	供用開始後の事業効果検証業務に関し、関係市町が個別に実施するのではなく、美里町にて一括して実施することで、検証業務の効率化が図れている。
			評価者 幹線道路整備係長 金澤 博司

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	寄居P Aスマートインターチェンジ設置事業	担当課	道路河川課	担当係	幹線道路整備係	管理番号	4140
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		寄居スマートICはNEXCO東日本のほか、美里町、寄居町と連携し事業を進め、令和3年3月末の上り線供用開始を以って全線開通に至っている。今後は供用状況を見ながら、事業効果未検証項目の検証業務を実施する必要があるが、本業務の目的と成果は達成されたため、目的達成による終了とした。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	道路河川課長 今井 吾郎				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

区分	成果指標 1	指標名	スマート I C 本体部整備工事進捗率																					
<table><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr><tr><td>平成29年度</td><td>100</td><td>70</td></tr><tr><td>平成30年度</td><td>100</td><td>70</td></tr><tr><td>平成31年度</td><td>100</td><td>75</td></tr><tr><td>令和2年度</td><td>100</td><td>100</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>100</td><td>100</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td></td><td></td></tr></table>				年度	目標値	実績値	平成29年度	100	70	平成30年度	100	70	平成31年度	100	75	令和2年度	100	100	令和3年度	100	100	令和4年度		
年度	目標値	実績値																						
平成29年度	100	70																						
平成30年度	100	70																						
平成31年度	100	75																						
令和2年度	100	100																						
令和3年度	100	100																						
令和4年度																								
区分		指標名																						
<table><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr><tr><td>平成29年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>平成30年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>平成31年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和2年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和3年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和4年度</td><td></td><td></td></tr></table>				年度	目標値	実績値	平成29年度			平成30年度			平成31年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
年度	目標値	実績値																						
平成29年度																								
平成30年度																								
平成31年度																								
令和2年度																								
令和3年度																								
令和4年度																								